

カリキュラム Curriculum	人文学研究科MC		ナンバリング Numbering	LI5020J
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
1125	音声学研究b <Studies in phonetics b>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
言語学	宇都木 昭(UTSUGI Akira)		後期	金曜：3限
講義題目 Title	音声学研究b			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	音声学研究aを履修済であること。または、調音音声学の基礎知識を有していること。基礎が不十分な場合は履修前に参考文献1（斎藤 2006）を読んでおくこと。			
授業の目的 Purpose	この授業では、音声科学の基礎について学びます。 This course introduces the foundations of phonetic sciences to students taking this course.			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>【ねらい】 音声学（phonetics）は、言語の音声を研究する学問分野です。音声学は言語学の基礎をなす一方で、言語学以外の様々な学問領域（例えば、心理学、障害学、医学、物理学、工学など）と関わっています。そして、そのような諸領域の多様なアプローチを取り入れ、音声を多角的に扱っていく学際的な研究は、しばしば「音声科学」（phonetic sciences）と総称されることがあります。この授業では、言語学的な調音音声学をふまえ、学際的な観点から音声科学の多様な分野の基礎を学んでいきます。</p> <p>【内容】 授業は講義形式で行い、グループディスカッションを適宜取り入れていきます。この授業で予定している主なトピックは以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音響音声学 ・音声の変化と変異、社会音声学 ・聴覚と音声知覚 ・リズム ・韻律 ・音声学と医療・リハビリテーション 			
教科書 テキスト Textbooks	教科書は用いず、必要に応じてプリントを配布します。			
参考書 References	<ol style="list-style-type: none"> 1. 斎藤純男（2006）『日本語音声学入門』（改訂版）三省堂. 2. 川原繁人（2015）『音とことばのふしぎな世界』岩波書店. 3. P. ラディフォグッド（1999）『音声学概説』大修館書店. 4. P. Ladefoged & K. Johnson (2014) A course in phonetics, 4th edition. Belmont, CA: Wadsworth. 5. R. ローレンス・G.J. ボーデン・K.S. ハリス 著、廣瀬肇 訳（2008）『新ことばの科学入門 第2版』医学書院. 6. L.J. Raphael, G.J. Borden, & K.S. Harris (2011) Speech Science Primer, 6th edition. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins. 7. W.J. Hardcastle, J. Laver, & F.E. Gibbon (2010) The Handbook of Phonetic Sciences, 2nd edition. Chichester: Wiley-Blackwell. 			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	毎回の授業について復習を行うこと。また、学期中に数回レポートを課します。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	レポート（70%）と討論への参加状況（30%）により評価します。			

連絡方法
Contact
information

オフィスアワー：水曜12:10-13:30
研究室：全学教育棟北204
電子メール：utsugi@nagoya-u.jp